



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社

コード番号 9790

URL <https://www.fukuicompu.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役 グループCEO （氏名） 佐藤 浩一

問合せ先責任者（役職名） 取締役 グループCFO/CHRO （氏名） 橋本 彰 （TEL）0776-53-9200

半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （ 機関投資家・アナリスト向け ）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	7,296	4.4	3,147	8.9	3,195	8.7	2,143	8.6
2024年3月期中間期	6,988	1.4	2,891	0.5	2,940	0.9	1,974	0.7

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,072百万円（ 2.4%） 2024年3月期中間期 2,024百万円（ △0.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	103.67	ー
2024年3月期中間期	95.50	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	30,589	25,135	82.2
2024年3月期	29,763	24,407	82.0

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 25,135百万円 2024年3月期 24,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	0.00	ー	65.00	65.00
2025年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2025年3月期(予想)	ー	ー	ー	70.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	13,837	0.1	5,390	△3.5	5,430	△4.3	3,572	△6.4	172.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	20,700,000株	2024年3月期	20,700,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	24,790株	2024年3月期	24,790株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	20,675,210株	2024年3月期中間期	20,675,210株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループ(当社及び連結子会社)における当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高7,296百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益3,147百万円(前年同期比8.9%増)、経常利益3,195百万円(前年同期比8.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益2,143百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(建築システム事業)

建築システム事業の売上高は3,396百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益は1,288百万円(前年同期比35.6%増)となりました。当中間連結会計期間は、住宅事業及び建材事業では、2025年の建築基準法改正に伴う対応需要の拡大により、法改正対応プログラム関連製品の売上が堅調に推移いたしました。BIM事業では、2024年5月にリリースした「GLOBE2024」において国産BIMシステムの強みを活かした展開により新規ユーザーの獲得につながりました。また、全ての事業で製品の価格改定告知による後押しもあり、前年同期比で増収増益となりました。

(測量土木システム事業)

測量土木システム事業の売上高は3,837百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は2,000百万円(前年同期比14.6%増)となりました。当中間連結会計期間は、国土交通省が推進する「i-Construction 2.0」やBIM/CIM原則適用により、3次元対応商材の需要が拡大し、売上に大きく貢献しました。また、展示会等のイベント開催を積極的に行ったことや製品の価格改定告知による後押しもあり、製品及びストック売上が増加いたしました。その結果、前年同期比で増収増益となりました。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業の売上高は62百万円(前年同期比78.1%減)、営業損失は15百万円(前年同期は営業利益165百万円)と前年同期比で減収減益となりました。当中間連結会計期間は、主だった選挙が実施されず、前年同期においては2023年4月に行われた統一地方選挙の出口調査システムにかかわる売上が計上しているため、減収減益となりました。

(投資事業)

当中間連結会計期間における営業損失は、運営経費による1百万円(前年同期は営業損失0百万円)となっております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は30,589百万円となり、前連結会計年度末より826百万円増加しました。主な要因は、現金預金、売上債権及び投資有価証券の増加、未収入金の減少によるものであります。

負債合計は5,454百万円となり、前連結会計年度末より98百万円増加しました。主な要因は、前受金の増加、未払金の減少によるものであります。

純資産は25,135百万円となり、前連結会計年度末より728百万円増加しました。これに伴い、自己資本比率は82.2%となっております。

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より876百万円増加し20,711百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、2,857百万円(前中間連結会計期間は2,844百万円の獲得)となっております。主な要因としましては、税金等調整前中間純利益3,195百万円、減価償却費107百万円、前受金の増加249百万円、法人税等の支払額271百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、636百万円(前中間連結会計期間は1,423百万円の使用)となっております。主な要因としましては有形固定資産の取得による支出342百万円、投資有価証券の取得による支出1,249百万円、

投資有価証券の償還による収入1,000百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1,344百万円(前中間連結会計期間は1,239百万円の使用)となっております。主な要因としましては、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日の決算短信で公表いたしました予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,834	20,711
受取手形	354	415
売掛金	1,390	1,493
商品及び製品	38	26
仕掛品	33	14
原材料及び貯蔵品	4	4
その他	896	273
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,551	22,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,003	1,041
土地	1,153	1,153
その他(純額)	237	498
有形固定資産合計	2,394	2,693
無形固定資産	135	154
投資その他の資産		
投資有価証券	3,879	4,027
繰延税金資産	468	491
その他	337	289
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	4,681	4,804
固定資産合計	7,211	7,653
資産合計	29,763	30,589

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52	44
未払法人税等	1,037	1,067
前受金	2,394	2,644
賞与引当金	611	571
役員賞与引当金	61	1
災害損失引当金	—	82
その他	916	781
流動負債合計	5,071	5,192
固定負債		
繰延税金負債	284	262
固定負債合計	284	262
負債合計	5,356	5,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	1,500	1,500
利益剰余金	20,552	21,351
自己株式	△59	△59
株主資本合計	23,624	24,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	782	711
その他の包括利益累計額合計	782	711
純資産合計	24,407	25,135
負債純資産合計	29,763	30,589

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	6,988	7,296
売上原価	1,524	1,528
売上総利益	5,463	5,767
販売費及び一般管理費	2,572	2,620
営業利益	2,891	3,147
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	30	29
受取保険金	1	78
受取手数料	4	4
その他	1	0
営業外収益合計	49	130
営業外費用		
災害損失引当金繰入額	—	82
営業外費用合計	—	82
経常利益	2,940	3,195
税金等調整前中間純利益	2,940	3,195
法人税、住民税及び事業税	987	1,066
法人税等調整額	△21	△14
法人税等合計	965	1,052
中間純利益	1,974	2,143
親会社株主に帰属する中間純利益	1,974	2,143

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,974	2,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	△71
その他の包括利益合計	49	△71
中間包括利益	2,024	2,072
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,024	2,072
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,940	3,195
減価償却費	97	107
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	△39
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△34	△59
災害損失引当金繰入額	—	82
受取利息及び受取配当金	△42	△46
受取保険金	△1	△78
売上債権の増減額(△は増加)	26	△165
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2	32
前受金の増減額(△は減少)	217	249
その他	122	△266
小計	3,328	3,012
利息及び配当金の受取額	40	38
保険金の受取額	1	78
法人税等の支払額	△525	△271
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,844	2,857
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23	△342
無形固定資産の取得による支出	△28	△84
投資有価証券の取得による支出	△2,438	△1,249
投資有価証券の償還による収入	1,000	1,000
その他	66	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,423	△636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,239	△1,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,239	△1,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	181	876
現金及び現金同等物の期首残高	18,053	19,834
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,235	20,711

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建築システム 事業	測量土木 システム事業	I Tソリューション 事業	投資事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,095	3,608	284	—	6,988	—	6,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,095	3,608	284	—	6,988	—	6,988
セグメント利益又は損失 (△)	949	1,745	165	△0	2,860	30	2,891

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)調整額30百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

国内外の建設テックスタートアップ等への投資を目的として「IFAC合同会社」並びに「IFAC投資事業有限責任組合」を新規設立したことに伴い、報告セグメントを、従来の「建築システム事業」、「測量土木システム事業」及び「ITソリューション事業」の3区分に「投資事業」を追加した4区分に変更しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建築システム 事業	測量土木 システム事業	I Tソリューション 事業	投資事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,396	3,837	62	—	7,296	—	7,296
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,396	3,837	62	—	7,296	—	7,296
セグメント利益又は損失 (△)	1,288	2,000	△15	△1	3,271	△123	3,147

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△123百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。